

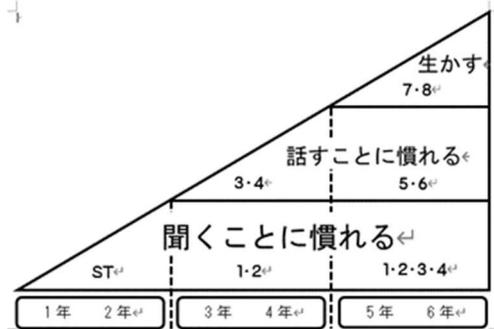
令和5年度 金沢型学習スタイル実践推進事業 報告書

| | | |
|--------|----------|-----|
| 新神田小学校 | 小学校教科推進校 | 英語科 |
|--------|----------|-----|

1 研究の重点と具体的な取組

(1) 重点1 意欲を持たせる単元構成の工夫

- ・「目的、場面・状況、相手」を明確にした。児童の実態に合った「目的、場面・状況、相手」が設定されると、見通しがもてるため、単元を通して児童が主体的に学習に取り組めるようにした。
- ・低学年は、「聞くことに慣れ親しむ」こと、中学年は、「話すことに慣れ親しむ」こと、高学年は「これまでの学習を生かす」ことを大切に、発達段階に応じて単元構成を工夫した。



(2) 重点2 コミュニケーションを豊かにするための工夫

- ・コミュニケーションを豊かにしていくために「聞くこと」の活動を大切に。聞くときの原則として、内容を理解して、必要に応じて表現を理解させていくという順序で聞かせていった。また、聞くことを通して新しいセンテンスを学んだ。
- ・「話すこと」の活動で学んだ表現に既習表現を用いた。既習表現が使えれば、より自分の伝えたいことが広がり相手に伝わると考え、取り組んだ。
- ・低学年から「聞くこと」に重点を置き、表現に慣れ親しむことで、中学年からその表現が生かし、自分の思いを豊かに表現し伝えられるようにした。

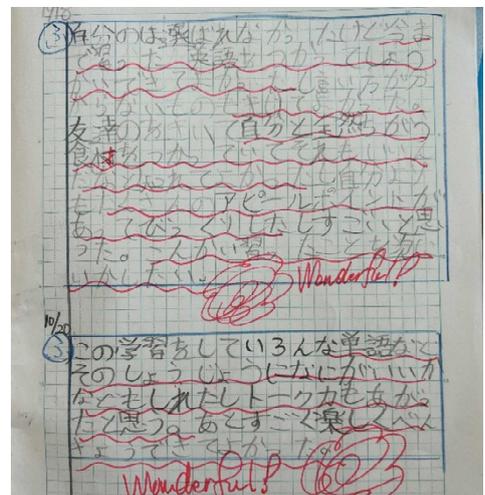


2 取組の検証

- ・児童のふりかえり

児童の実態に合った「目的、場面・状況、相手」が設定されると、楽しんで学習に取り組む姿が多く見られた。ふり返りでは、「楽しかった」や「生かしたい」など前向きな言葉が書かれていたため、単元を通して意欲が継続されたと考える。

また、聞く活動を通して、新たな表現の仕方を発見する姿も見られたが、何より、視点を明確にして聞かせることで、それらの表現を理解し、自分の発表や、やりとりに生かすことができたこととふり返る様子も見られた。



・教員・児童アンケート

児童アンケートでは、8割以上の児童が英語の学習において「自分の伝えたいことを伝えることができた」と肯定的評価をしている。教員アンケートにおいても、2年目ということもあり、学校全体で意識して取り組めた。

| 児童アンケート項目 | すごくよく | まあまあ | すこし | あまり | 肯定的評価 | 今年度7月 | 比較 |
|-----------------------------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|
| 英語の学習などで自分の伝えたいことを伝えることができた | 54.4% | 28.2% | 12.0% | 5.5% | 82.5% | 81.2% | 1.4% |

| 教員アンケート項目 | すごく・よ | まあまあ | すこし | あまり | 肯定的評価 | 今年度7月 | 比較 |
|--|-------|-------|-----|-----|-------|-------|-------|
| 「意欲を持たせる単元構成の工夫」と「コミュニケーションを豊かにするための工夫」を実践している | 70.6% | 29.4% | 0% | 0% | 100% | 92.9% | 7.1% |
| 学年会等で教材研究について話し合う時間を設けている | 56.3% | 43.8% | 0% | 0% | 100% | 84.7% | 15.3% |

3 成果と課題

〈成果〉

(1) 重点1 意欲を持たせる単元構成の工夫

- ・「目的、場面・状況、相手」が児童の実態に合った単元構成を考え、単元の導入で児童と学習の流れを確認した。そうすることで、見通しがもて、児童の意欲を単元を通して継続させることができた。
- ・それぞれの学年で、単元構成において大切にしたいことをはっきりさせることで、目指すべき子どもの姿を教師がイメージしやすくなった。



(2) 重点2 コミュニケーションを豊かにするための工夫

- ・「聞くこと」の大切さを全教員が理解し、聞かせ方を工夫することで、子どもの英語を聞く意識が高まったり、集中して聞くことができたりした。
- ・単元のゴールとしてネイティブ ALT の活用をすることで、発表ややりとりに対する意欲がより高まった。



〈課題〉

学年が上がるにつれ英語を苦手と感じる児童が増えている。そこで、学年が上がっても意欲が継続するように、今後も各学年に応じた「目的・場面・状況・相手」の設定を行うとともに、「聞く活動」を通して、楽しく自然に英語表現が身につくようにしていきたいと考える。そのためには、ネイティブ ALT の活用を継続的に行ったり、外国人もたくさん訪れる観光地金沢の環境を生かしたりしていきたい。また、既習表現も含め、たくさん聞かせ、英語に触れさせられるように、今後は、Small Talk を意図的・継続的に取り入れるなど、聞く活動がより効果的になるように工夫することで、ますます英語に触れられるようにしていきたい。